

【内装専用】

ジョリパッゼシリーズ
ミックスシャーベット仕上げ
施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m ² (水希釈量で 変動)
	ジョリパットシーラー JS-90	1液水系アクリル白色シーラー	10kg/ ポリ容器	約40 m ²
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系珪酸シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m²</u>
下塗り材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> <u>標準色</u> <u>JP-100T</u> <u>(...数字)</u> <u>特注色</u> <u>JP-100</u> <u>(...英字、 ...数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約11 m ²
中・ 上塗り材	ジョリパット JPX-7	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗料	15kg/缶	約17 m ²
骨材	JF-3 JF-75 (C1~C8)	寒水石(白竜)3厘 ガラスビーズ 小	20kg袋入 20kg箱入A色 20kg箱入B色	約40 m ² 約58 m ² 約88 m ²

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m²/セット)
使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい(例外 JS-500、JS-800、石膏ボード JS-90 など)。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ
- ・仕上げコテ(ステンレス製の腰の柔らかいもの)
- ・ステンレス製練り桶
- ・ゴムゴテ

< 下地調整 >

石膏ボード(プラスターボード)又はモルタル(金ゴテ押え)など。

<ミックスシャーベット仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18ℓ
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-90 の場合

配 合	JS-90	10kg
塗 布 量	0.25kg/m ²	
施工方法	ローラー、刷毛	

1 JS-800 の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2. 着色下塗り(1回目)
(下地調整)

・JP-100シリーズを無希釈で0.9kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布。この時、ボードのパテ処理部分の不陸調整等を兼ねます。

夏期 6時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 着色下塗り(2回目)

配 合	JP-100シリーズ	20kg
	寒水石 3厘	10kg
	清 水	1ℓ
塗 布 量	約1.5kg/m ²	
施工道具	金ゴテ	
	金ゴテにてしごくように材料を塗布し、コテ波が残らないよう仕上ゴテで押さえてください。(図-1)	

夏期 6時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

4. 中塗り用タックコート

・ J P X - 7 を無希釈で $0.2 \text{ kg} / \text{m}^2$ となるよう
 ゴムゴテにて薄く塗布してください。
 施工道具 ゴムゴテ
 ちり、入・出隅では塗布量が多くなりや
 やすく、上塗り後、その部分が透けてしま
 うため、多くならないよう注意。

追いかけ (5 分以内)

5. 主材 中塗り

配 合	J P X - 7	1 0 k g
	J F - 7 5 A 色	2 5 k g
塗 布 量	約 $0.6 \text{ kg} / \text{m}^2$	
施工道具	プラゴテ	

プラゴテにて材料を薄く均一に配り塗り。

夏期 4 時間以上
 冬期 1 2 時間以上
 乾燥を確認後、次工程に移って下さい

6. 上塗り用タックコート

・ J P X - 7 を無希釈で $0.2 \text{ kg} / \text{m}^2$ となるよう
 ゴムゴテにて薄く塗布してください。
 施工道具 ゴムゴテ
 ちり、入・出隅では塗布量が多くなり、
 上塗り後、その部分が透けてしまうため、
 多くならないよう注意。

追いかけ (5 分以内)

7. 主材 上塗り

配 合	J P X - 7	1 0 k g
	J F - 7 5 B 色	2 5 k g
塗 布 量	約 $0.4 \text{ kg} / \text{m}^2$	
施工道具	プラスチックゴテ	

材料を均一に配り塗り。

- ・着色下塗り1回目(下地調整)の工程では表面を仕上げゴテで平滑に、下塗り2回目の工程では、コテ波が残らない様に円状又はランダムに柔らかく押さえて仕上げます。(図-1)
- ・特に下塗り2回目はビーズから透けて見える為、ムラがないように塗布します。(ムラは透けて見える為、注意して下さい。)

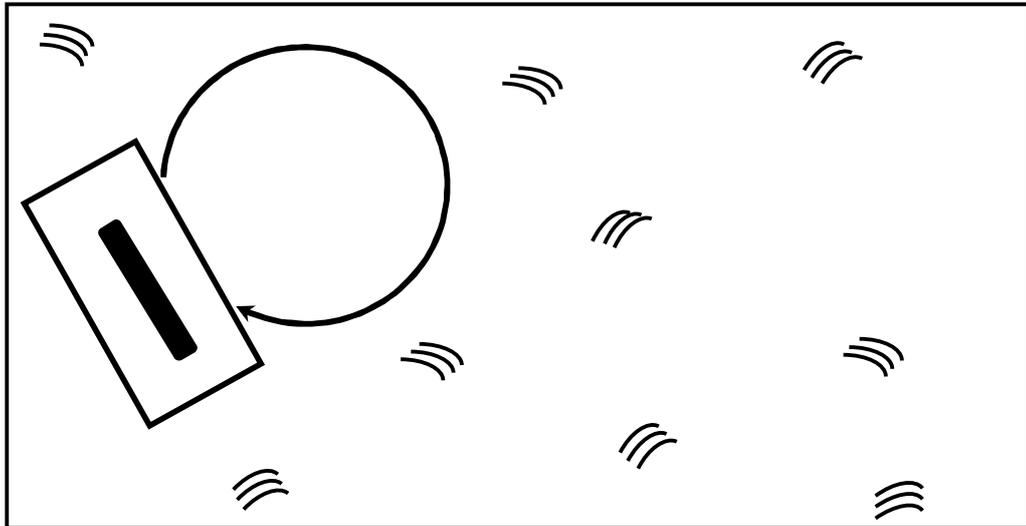


図 - 1

- ・タックコートでは入隅等にたまらないように注意して下さい。
- ・中塗り、上塗りは薄くフラットに仕上げます。このときコテは一定の方向に動かさないようランダムに動かします。(図 - 2)

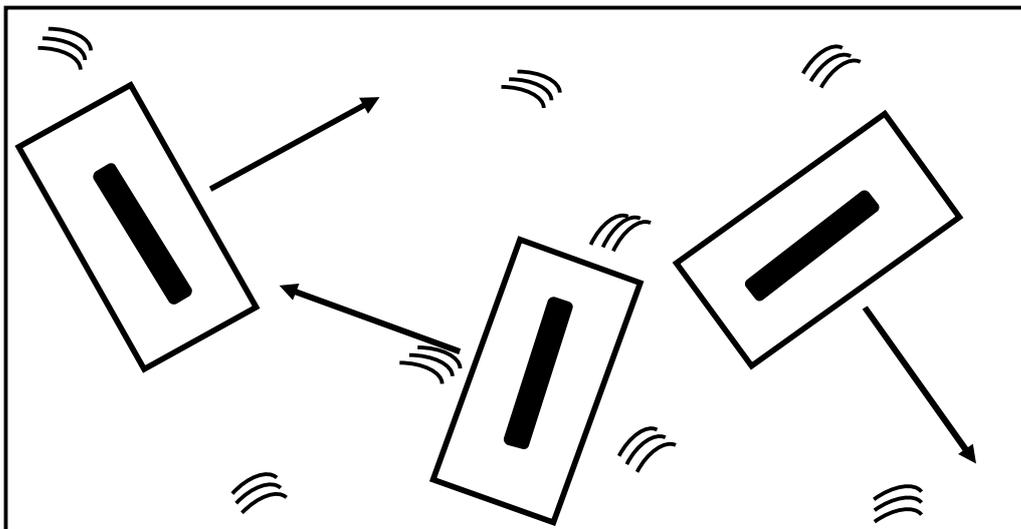


図 - 2

< 施工の注意事項 >

- ・表面乾燥直後に、表面を強く押さえると仕上がりが悪くなります。(表面に樹脂を引きずった跡が残ります。)
- ・主材上塗り及び押さえについては必ず仕上げゴテ(プラゴテ)を使用し、使用後は直ちに洗い流して下さい。(コテに樹脂がついたまま放置すると凹凸がつき次回施工時にムラが出やすくなるなどの問題が発生します。)
- ・内装専用仕上です。
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・気温 5 以下、湿度 85%以上、結露などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上